



九州営業所がある熊本県は6月4日に梅雨入りが発表されました。水不足にならないようにしっかりと降ってほしいと思う反面、雨の日が続くと外出するのが億劫になったり、洗濯物が乾かないなど日常生活への影響も少なくありません。そして、作物の生育に対しても日照不足や低温による影響が心配されます。本号では、生育の遅れが心配される時に役立つ資材や使用方法について紹介させていただきます。

生育促進・調整や生育不良からの早期回復へ迅速に効果を発揮する葉面散布肥料

1号	日照不足や環境の悪化による生育不良からの回復 チッ素6%-りん酸2%-加里3%
M	同化作用を活発化して栄養バランスを調整 チッ素1%-りん酸5%-加里5%-苦土1%
2号	チッ素過剰による栄養バランスの乱れを調整 チッ素0%-りん酸5%-加里5%

通常は100～150倍希釈で使用しますが、日照不足や低温で肥料の効きが弱い時は50倍希釈での散布が効果的です。

水稲編

すでに田植えが終わっている地域もありますが、これから田植えをする地域では、**千代田化成**を苗箱に施肥する**弁当肥**や、移植7～10日後の流し込み施肥による**根付け肥**が効果的です。

弁当肥

田植の前日～直前に
7～10g/苗箱施肥
水で葉から洗い流す

根付け肥

田植7～10日後に
10kg/10アール
流し込み施肥



水口から水と一緒に

オーツーパーワー

長雨による土壌中の酸素不足で弱っている根の早期回復が期待できる酸素供給材

◎試験データ(湛水状態で根が弱ったネギへの効果)
オーツーパーワー50倍液 500ℓ/10a相当を3日おきに2回施用
11日後の発根比較



上:オーツーパーワー処理
下:無処理

	新根数	総新根長
オーツーパーワー処理	10.7本	113.4cm
無処理	7.3本	63.0cm